

中津川市公立病院評価委員会が開催されました

中津川市民病院、国保坂下病院では、平成 21 年度から平成 23 年度までの期間で中津川市公立病院改革プランを策定し、病院事業の改革に取り組んでいます。

住民代表、地域の医療関係者、中津川市の関係部長、両病院長、有識者により中津川市公立病院評価委員会を平成 24 年 1 月 26 日に開催し、平成 22 年度決算実績に基づき事業評価を行いました。

目標数値による評価結果

市民病院

区分		22 年度目標	22 年度実績	評価
財 務	経常収支比率 (%)	94.8	94.3	0.5 ポイント未達成
	職員給与費比率 (%)	53.3	55.4	2.1 ポイント未達成
	病床利用率 (%)	78.0	67.2	10.8 ポイント未達成
	材料費比率 (%)	23.1	20.7	2.4 ポイント達成
医 療 機 能	1 日平均入院患者数(人)	281.0	242.0	39.0 人未達成
	病床利用率 (%)	78.0	67.2	10.8 ポイント未達成
	平均在院日数 (日)	15.3	14.4	0.9 日達成

★経常収支比率 (100%以上で黒字) で 0.3 ポイント達成できませんでした。

★経常収支額は 23 万 4 千円超過し達成しました。

坂下病院

区分		22 年度目標	22 年度実績	評価
財 務	経常収支比率 (%)	94.3	99.3	5.0 ポイント達成
	職員給与費比率 (%)	55.0	52.3	2.7 ポイント達成
	病床利用率 (%)	70.4	77.5	7.1 ポイント達成
	材料費比率 (%)	17.1	16.0	1.1 ポイント達成
医 療 機 能	1 日平均入院患者数(人)	140.0	154.3	14.3 人達成
	病床利用率 (%)	70.4	77.5	7.1 ポイント達成
	平均在院日数 (日)	27.2	23.3	3.9 ポイント達成

★経常収支比率 (100%以上で黒字) で 5.0 ポイント達成できました。

委員会での主な意見及び回答

- ・改革プランでは赤字を目標にしているが→平成 25 年度には黒字化を目指したい
- ・赤字でも地域連携があり適正な医療を行うことが必要では→必要であるが、第一に現金を減らさないようにしたい
- ・市民病院は地域支援病院を目指すとしているが→若干基準を超えていない
- ・ネットワークに対する取り組みは→まずは両病院でのネットワーク化を進めたい
- ・坂下病院は婦人科はあるが産科はやっていない→周辺に婦人科検診を担うところがない、産婦人科医の確保は難しい
- ・中京大学に看護学部ができたが→市民病院では実習を受け入れている
- ・市民病院に紹介したが返された→必要な患者は医師の判断で受入れている
- ・赤字の原因は看護師がいないことか→診療科も減ったことも原因の一つである
- ・民間と公立の差は不採算のところでありその説明が足りない→丁寧な説明をしていきたい

今後の方向

- ・23 年度も改革プランの目標達成に向け努力していく。

問 先 市民病院 総務人事課 66-1251 (4505)
坂下病院 総務課 75-3118 (201)